

## 令和5年度くまもと農業アカデミー各講座内容

区分	本校	講座番号	本-35
講座名	先端技術紹介③（農業研究センター）		定員
開催日	令和5年9月15日(金)		
開催時間	13時30分から15時45分		
開催方法	（使用するアプリ） Webex  （連絡先） TEL：096-248-6600（農業大学校研修部直通）		
優先する受講者の条件	県内の農業者		
講座の狙い	県農業研究センターの最新技術を紹介（果樹関係）		
講座の概要	県農業研究センターでは、「くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定」「稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発」「環境にやさしい農業を推進する技術の開発」に取り組んでいる。 そこで、本講座では農業研究センターの果樹関係の最新の研究成果について学ぶ。  〈発表予定の成果〉 ①無加温栽培ヒリュウ台「肥の豊」では2本主枝にして植栽密度を高めることで単位面積当たりの収量が増加し、労働生産性も向上する ②温州ミカンの平坦地シートマルチ栽培は防水防根シート埋設により高糖度果実が生産できる ③カンキツ「熊本EC12」はジベレリン処理や結果母枝の切り返しにより着花を抑制できる ④カンキツ黒点病に対するマンゼブ水和剤のドローン空中散布による防除効果の解明 ⑤ニホンナシの新梢の退緑斑点症状は水和硫黄剤とスピロテトラマト剤の体系防除で軽減できる ⑥ナシ「甘太」における区分収穫が果実品質と収穫時間に及ぼす影響 ⑦ブドウ「巨峰」はアブシジン液剤を果房散布することで着色が向上する  ※本講座は令和5年度（2023年度）熊本県農業研究センター果樹関係研究成果発表会をオンライン配信します。		
講座の時間配分（目安）	開会 成果発表 総合討議 ※成果ごとの発表時間は別紙をご参考ください	13時30分～13時45分 13時45分～15時30分 15時30分～15時45分	
受講上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者は受講に使用するパソコンやスマホにあらかじめWebexアプリのインストールをお願いします。</li> <li>・講座に使用するミーティングIDは事前にお知らせします。</li> <li>・質疑の時間が限られておりますので、当講座を受講後、内容について御質問のある方は、別途お送りするアンケート用紙にご記入ください。後日、農業研究センターから御回答します。</li> </ul>		
受講料	無料		

## 先端技術紹介③（果樹関係） タイムスケジュール

テーマ	時間
開 会	13時30分～13時45分
①無加温栽培ヒリュウ台「肥の豊」では2本主枝にして植栽密度を高めることで単位面積当たりの収量が増加し、労働生産性も向上する	13時45分～13時57分
②温州ミカンの平坦地シートマルチ栽培は防水防根シート埋設により高糖度果実が生産できる	13時57分～14時10分
③カンキツ「熊本EC12」はジベレリン処理や結果母枝の切り返しにより着花を抑制できる	14時10分～14時22分
④カンキツ黒点病に対するマンゼブ水和剤のドローン空中散布による防除効果の解明	14時22分～14時35分
休 憩	14時35分～14時50分
⑤ニホンナシの新梢の退緑斑点症状は水和硫黄剤とスピロテトラマト剤の体系防除で軽減できる	14時50分～15時03分
⑥ナシ「甘太」における区分収穫が果実品質と収穫時間に及ぼす影響	15時03分～15時16分
⑦ブドウ「巨峰」はアブシジン液剤を果房散布することで着色が向上する	15時16分～15時30分
総合討議	15時30分～15時45分
終了	15時45分

※あくまで目安の時間になりますので、お早めに接続をお願いします。